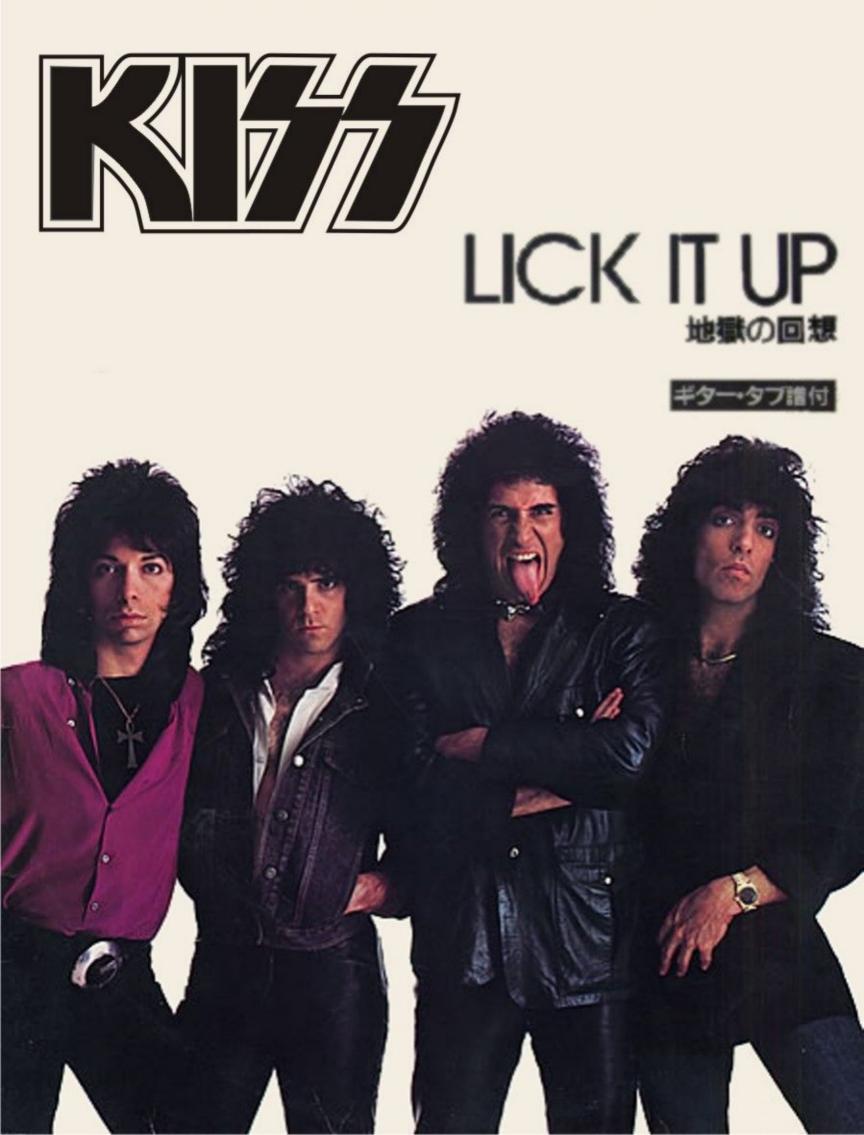
## ROCK GUITAR BEST COLLECTION





## LICK IT UP

1. EXCITER (4:11)
2. NOT FOR THE INNOCENT (4:23)

 3. LICK IT UP (3:56)
 4. YOUNG AND WASTED (4:06)
 5. GIMME MORE (3:44)

6. ALL HELL'S BREAKIN' LOOSE (4:34)

 7. A MILLION TO ONE (4:10)
 8. FITS LIKE A GLOVE (4:04)

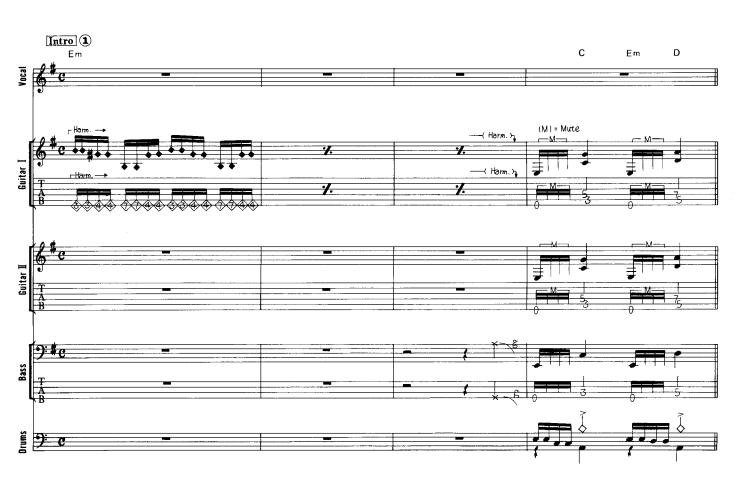
9. DANCE ALL OVER YOUR FACE (4:16)

 10. AND ON THE 8TH DAY (4:03)

KITT: PAUL STANLEY, GENE SIMMONS, ERIC CARR & VINNIE VINCENT



ギターだが、Intro1はナチュラル・ハーモニクスを使ったトリッ キーなプレイ。3f、4fと、ハーモニクス音が出にくいポジションな ので注意しよう。Intro2のGt-2は、低音ミュートとコード弾きを組 み合わせたモノ。6弦開放のミュート部分はリズミカル、かつへ ヴィになるようなミュート・コントロールが必要。回はGt-2がA のコードを白玉で流しているのに対し、Gt-1はアルペジオで違う コード・ニュアンスを作っている。結果的に分数コードのような 感じになり、サウンドに広がりを持たせるという好アレンジだ。 匡のGt-1は、異弦同音でのハーモナイズド・チョーキングによる プレイ。チョーキングする方の音程が不安定にならないように気 をつけよう。匠のキメ・フレーズ後の6弦1fのF音は、ゆっくり とポルタメント的にチョーキング(半音ぐらいの目安で)。 ⑤の Gt-1はオクターブによるプレイだが、原曲では低音側と高音側に 分けて弾いているようなニュアンスにも聴こえる。ここではオク タープ奏法を用いて再現してみた。回のGt-1は深めのディレイが 掛けられたソロ。1~3小節では5連符による速弾きだが、音使 いとしては4つの音を繰り返すというもので、これを5連符にあ てはめるというトリック。4小節目はプリング・オフを使ったプ レイ。プリング・オフされた後の音のパランスに注意すること。 6小節目の1、2拍はミュートをしながらのフレーズ。音使いも独 特で、フィンガリングもちょっと難しい。ベースは、全体的に16分 のノリを使ってウネリを出すという、ジーン・シモンズならでは のプレイ。グリスのニュアンスや休符等の細かい部分もしっかり とチェックしておこう。ドラムはハイハットは8分で、バスドラ は16分のニュアンス。バスドラの拍のウラのタイミングが重要な ポイントだ。









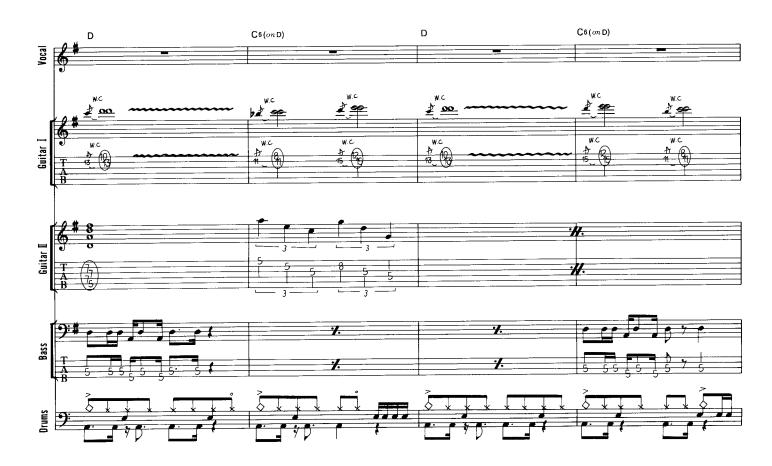
















II



\_\_\_\_\_i





F



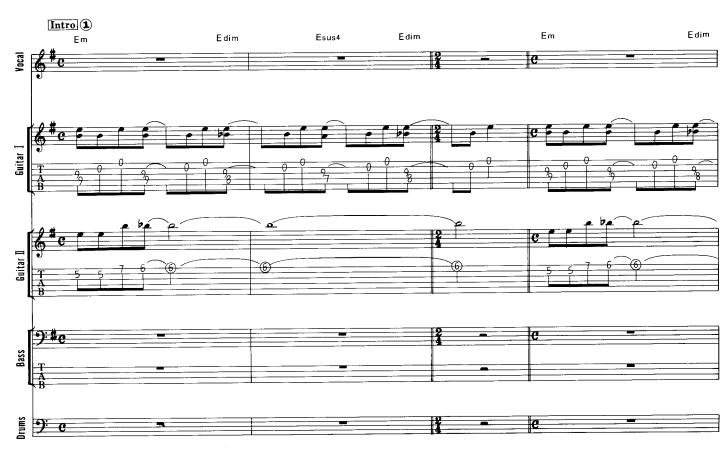


**NOT FOR THE INNOCENT** 

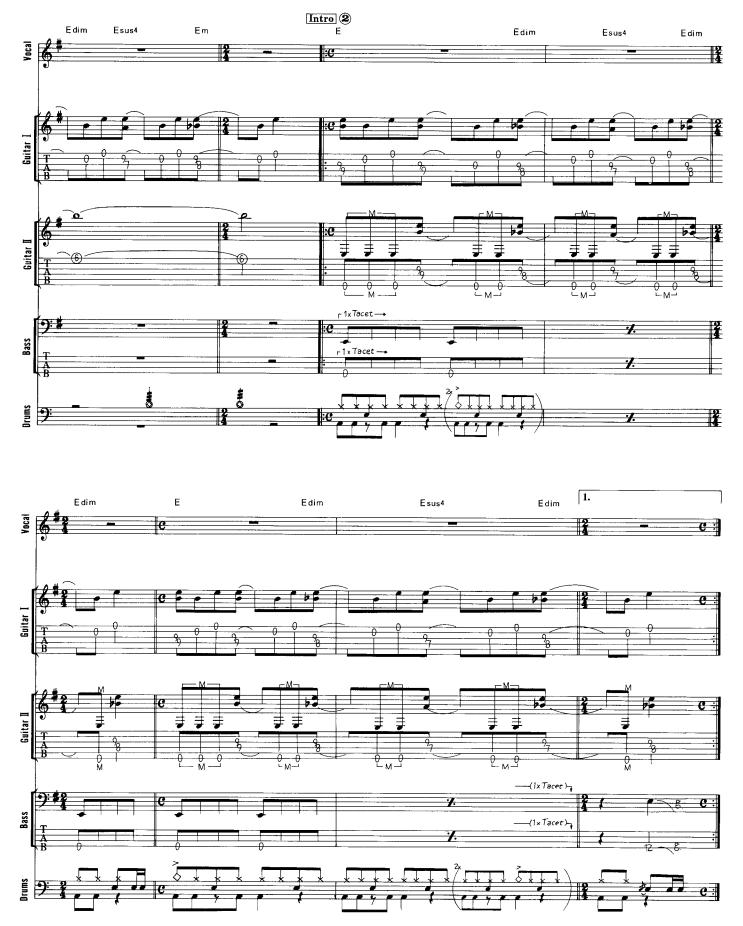
ノット・フォー・ザ・イノセント Words & Music by Gene Simmons and Vinnie Vincent

Intro1のGt-1はクリア・トーンによるアルペジオ風プレイだ。こ の曲のテーマ的でもあるこのパターンは、シンコペーションに合 わせた音の流れが5th、5th、4th、5thという異質なモノだが、印 象的なリフになっている。また、このリフはひとつのパターンが 4/4拍子が二つ、2/4拍子が一つという変則的な拍子にもなってい る。この変則的な拍子にも早く慣れてしまおう。Intro2のGt-2は、 Intro1のパターンをヘヴィな形にしたようなモノ。6弦開放のし っかりとしたミュートと、シンコペーションとのコンビネーショ ンがポイントだ。国のGt-1はソロ。2~4小節はトリルにアーミ ングをかけるという技。アーミングはポルタメント的にかなりゆ っくりとダウンさせていく。5、7小節でのアーミングは、リズム に合わせてアームを軽くヒットさせるというプレイ。またここでは、チョーク・アップをしたままでのアーミングということも忘れずに。14小節目はトレモロ・ピッキングのような感じで弾く。 15小節目は、1音と半音のチョーク・アップを交互に繰り返すプレイ。それぞれの音程に注意すること。また、少しスタッカート気味に音を切ってやると良い。回回のGt-1のフレーズは、原曲ではモジュレーションが掛けられているような感じになっている。ベースはルートを中心としたシンプルなラインによるプレイだが、 回回ではスタッカート気味にピッキングしたりと、表情にアクセントをつけている点をよくチェックしてほしい。ドラムは、とにかく変拍子をしっかり頭の中に叩き込んでおくこと。





© 1983 HORI PRODUCTIONS AMERICA, INC. and RIHO MUSIC, INC. Assigned for Japan to TAIYO MUSIC, INC. Authorized for sale only in Japan.





Voral

Cuitar









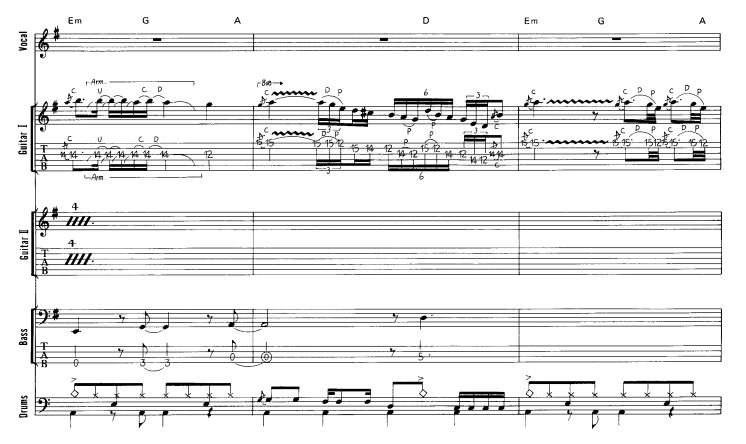


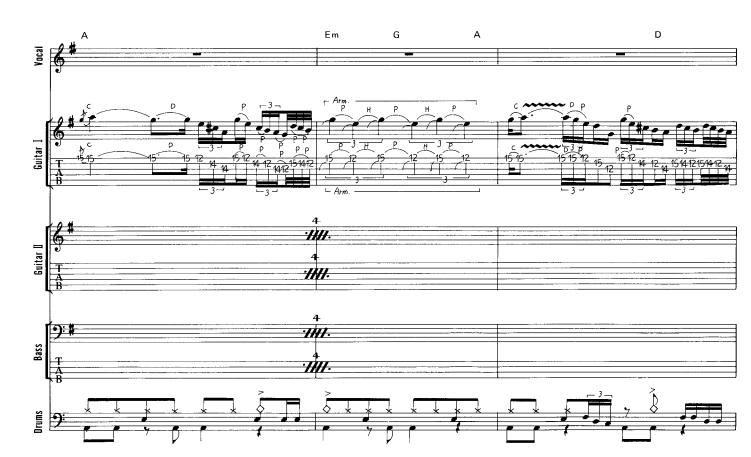




.







ŧ

Ruitar

Vncal







Vocal

Guitar I

Guitar II

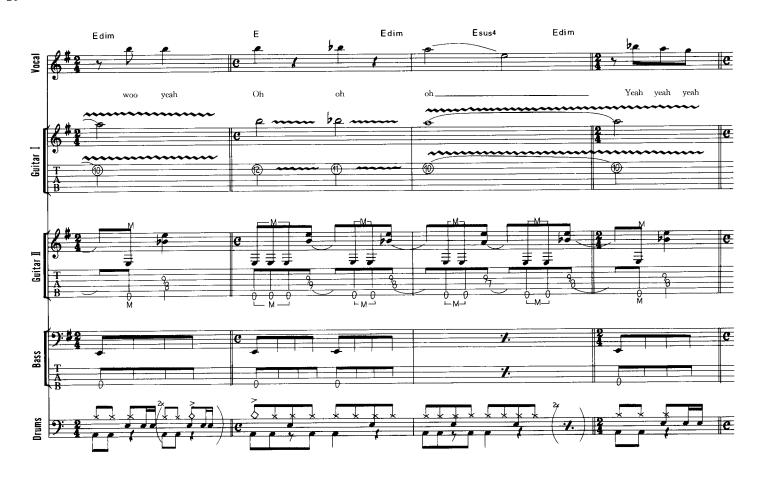
Bass

Drums

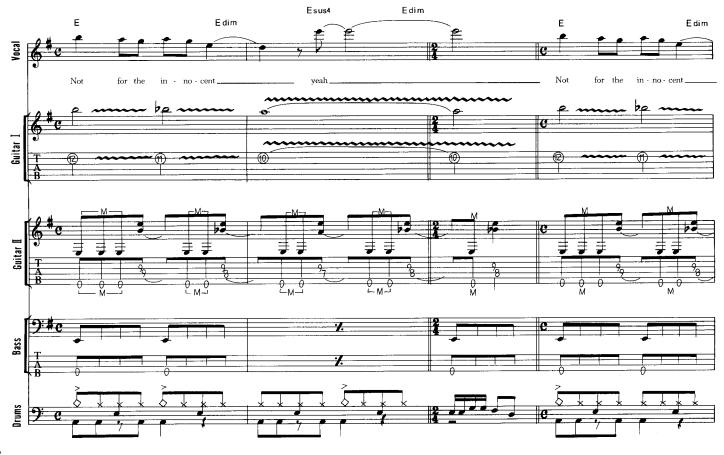
Incal

**Cuitar** ]

Puitor









Cuital

c



ギターだが、この曲ではソロもなく、リフやバッキングのみで構成されており、ギター・パートも1本にまとめて記譜してある。 Introはパワー・コード(ルート&5度)によるミュートの8分刻み。簡単だからといって甘くみてはいけない。ミュートをしながら正確なリズムや良いノリを出すのは案外難しいものだ。 (回の3、4小節目のD(onA)でのコード・フォームは、この曲のキー・ポイントとなる形。オープン・チューニング等では、よく使われるコード・フォームで、ここではAのコードを人差指でセーハしDのコードになる時は、人差指は押さえたままで、中指で2弦3f、薬指で4弦4fを押さえる。キッスの昔のナンバーでもよく使われている [Intro] (クリスティーン・シックスティーンやショック・ミー等)。 国の 1、2小節ではベースがA音で、ギターはGのコードという分数コ ード的なアプローチ。ギター側では低音弦のG音(ここでは6弦 3fのG音)の音は出さないようにするのがいいだろう。 国の1小 節目はロー・コードでのGで、低音弦が動くというもの。2拍3連 でもあるので、リズムには注意するように。 国の1、2小節はアル ペジオで。ここは歪んだ音だ。 ベースはルートの8分を刻むシン プルなパターンが中心。 しっかりとしたリズム・キープを心掛け てほしい。



© 1983 HORI PRODUCTIONS AMERICA, INC. and RIHO MUSIC, INC. Assigned for Japan to TAIYO MUSIC, INC. Authorized for sale only in Japan.



.

Incal

Guitar





- diraka da

Vocal

Guitar

Race





**YOUNG AND WASTED** 

ヤング・アンド・ウェイステッド Words & Music by Gene Simmons and Vinnie Vincent

ギターだが、Introld 16分の細かなリフで、この曲でのメインとなるリフだ。休符に注意して、16分のリズムをしっかりと右手に覚えさせること。また、左手のプリング・オフもノリに合わせてしっかりと決める事が大事。回の1~3小節間はGからAへコードをスライドさせる。あまりもたつかないように注意しよう。ここの4小節目のキメ・フレーズは、1コーラス目と2コーラス目では全く別モノなので気をつけよう。回のGt-1はソロ。1小節目は複音でのチョーキングをしたまま(音を伸ばしたまま)、譜面のリズムでアームを軽くヒットするというプレイ。2小節目の3弦12fでクォーター・チョーキングを行なう(指定のある音のみ)。3小節目のアタマはチョーキングでも良さそうだが、半音下からのスライドの方がニュアンスが近いと思う。後のフレーズへの流れから、ここの

スライドは薬指がベストだろう。5小節目は、まず1弦15fをチョ ーキングしたら、更に半音のチョーキングをゆっくりとポルタメ ントで追加させるというプレイ。回のGt-1、1小節目は2音半もの チョーキングであるが、もしかしたらアームをアップさせている のかもしれない。しかし、アームの場合はくれぐれも、ユニットを 壊さないように注意しよう。4~5小節にかけては開放弦を含ん だプリング・オフの連続フレーズ。しっかりとした左手のフィン ガリング・コントロールが要求される。ベースだが、Introのリフ はギターとのユニゾンの形。ギターのようにプリング・オフは使 わなくてもよいが、ノリや符割りのタイミングを合わせるように しよう。ドラムはバスドラのタイミングが命。符点のリズムをよ くチェックしておきたい。



<sup>© 1983</sup> HORI PRODUCTIONS AMERICA, INC. and RIHO MUSIC, INC. Assigned for Japan to TAIYO MUSIC, INC. Authorized for sale only in Japan.









Cuitar





Guitar I

Vnral

Voral

**Guitar** I

Cuitar I

Race

Guitar I

Bass



4 I





Guitar I

**Guitar I** 

Bass

Vocal

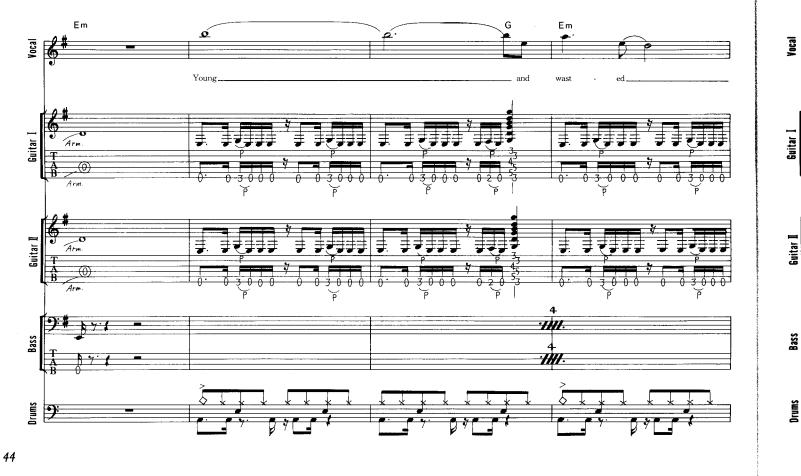
Vocal

Guitar I

**Buitar I** 

Bass







alaadi waxaana

Vocal

Guitar I

Guitar 🛙

Bass

Drums







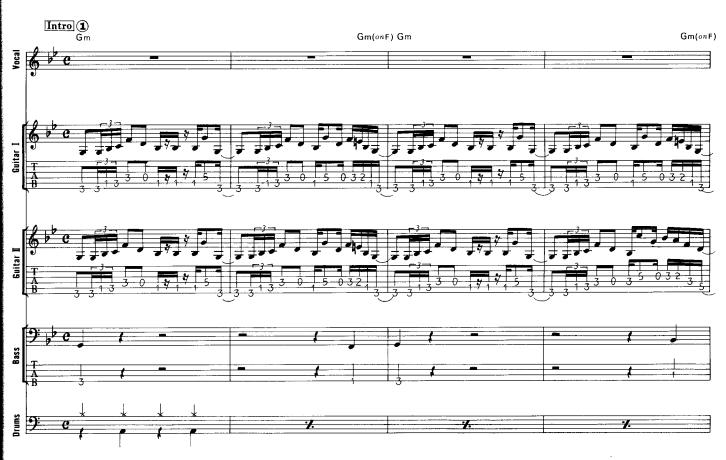
**ALL HELL'S BREAKIN' LOOSE** 

オール・ヘルズ・プレイキン・ルーズ

Words & Music by Eric Carr, Gene Simmons, Paul Stanley and Vinnie Vincent

ギターだが、Introはこの曲のテーマ的なリフ。ゆっくり目の16 分だが、フィンガリングが難しいので注意が必要だ。4小節目の4 度や5度のハモリ・フレーズは、一人で弾いているのかと思った ら、よく聴くと2本のギターで別に弾いているニュアンスだ。はっ きりとしたことは言えないが、そう解釈して別々のパートに分け て記譜した。もちろん一人で2音をいっぺんに弾く方法でもよい とは思うが、弾きづらくなるのは確か…。回は各小節の2~4拍 はキッチリと休むように。Coda1はギター・ソロのきっかけとな るフレーズで、開放弦を使ったプリング・オフの連続での6連符 フレーズ。リズムを正確にキメよう。回のGt-1の2小節目、3拍目 のアタマは半音チョーキング。続く1弦15fと2弦15fは人差指で セーハしてしまおう。5~8小節は一転して中世ヨーロッパといった感じの音使いが印象的。難しいスケールの話は置いておくが、 A音をフラットさせている点がポイントになる、ということだけは 覚えておいてほしい。また、5~8小節間ではオクターブ下にユニ ゾンのハモリが付け加えられているが、これはオクターブー等の ピッチをコントロールできるエフェクトによるものだろう。ベー スだが、Introの9小節目からや、回等の部分では、8分をスタッカー トして、歯切れよくリズムを刻んでいこう。ドラムのIntro5~8小 節目は、リズムになる前の盛り上げる部分なので、パワーを出して いこう。スネアやフィルのタイミングが早くならないように気を つけること。

67



© 1983 HORI PRODUCTIONS AMERICA, INC. and RIHO MUSIC, INC. Assigned for Japan to TAIYO MUSIC, INC. Authorized for sale only in Japan.











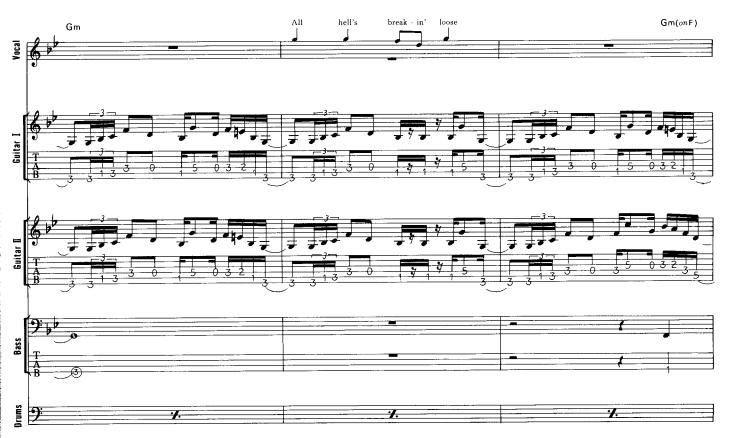
















## A MILLION TO ONE

Words & Music by Paul Stanley and Vinnie Vincent

ギターだが、Intro1のGt-1はクリア・トーン気味の音でのアル ペジオで、後半のサビやソロでも弾かれているパターン。弾き方は いたって簡単で、3、4弦の同一フレットを動かし、1、2弦の開放を 絡めるというものだ。5小節目からGt-2のパートが入ってくるが、 キーがEmであるのに、メジャー・コードが鳴ってしまっている。 低音弦を中心とし、あまりG\*音が目立たないような弾き方を心掛 けるとよい。回のGt-1はソロ。1小節目はチョーキングから入る フレージング。2拍目ウラはチョーク・アップなので、弦をベン ドする時の音が鳴らないように気をつけること。3小節目のF<sup>i</sup>音 からE音へのチョーク・ダウンは、多少ポルタメント的にゆっくり と下がっていく感じで、原曲のニュアンスをよく聴いて研究して ほしい。5小節目の4拍目のチョーキングのポジションは、前の流 れからすると、17f、18fと来て、20fに行きそうだが、その後のフレー ズに行きヅライ。よって、1弦15fという解釈とした。7、8小節は強 カなタッピング・プレイでのハモリである。リズムも9連符とか なり速いタッピングになるので、ちょっと難しいだろう。 回の部 分は一応サビと同じヴォーカル・ラインだが楽器のバッキング・ パターンが違う。そして回回回と、ちょっと構成がややこしいの で、あらかじめよく確認をしておこう。ペースはシンプルなライン プローチ(Intro2や回回等)をよくチェックしておこう。





© 1983 HORI PRODUCTIONS AMERICA, INC. and RIHO MUSIC, INC. Assigned for Japan to TAIYO MUSIC, INC. Authorized for sale only in Japan.



















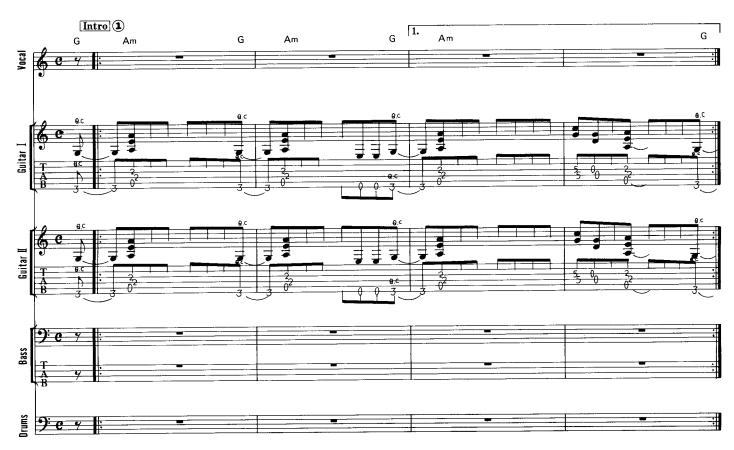






ギターだが、Introのリフは 4 小節パターンで、この曲でのメイン 的なもの。6弦3 fは中指で押さえ、3弦2f、4弦2 fは人差指でセ ーハするというフォームになる。6弦3 fはクォーター・チョーキ ング。中指を1弦側に少し引き下げるような感じで行う。 ©のち ょっと変わった音は、Bのコードのらけた使ったもの。シンコペシ ョーンのリズムに注意しよう。 Eのプレイクはリズムを刻むもの がなく、符割りはだいたいの目安として考えてもらいたい。ヴォー カリストの間に、他の楽器が合わせていくという感じでプレイし よう。 GのGt-1はソロ。7~11小節はフレージングにリズミカル なアーミングを加えたもの。あまり大げさなアーミングだとリズ ミカルにならないので注意しよう。9、10小節は、プリング・オフ した時にアーミングを行うという高度な技だ。①の3、4小節目の プレイク時の妙な音だが、適当なポジション(1弦あたり)で、ミュ ートしながら左手はトリルを行い、その左手をハイ・ポジション からロー・ポジションへと下げていくと似た感じになる。7、8小 節目のプレイク時は、3弦5fのチョーキングと2弦3fの、異弦同 音によるハーモナイズド・チョーキング。速いリズムなので注意 しよう。ベースだが、回では1コーラス目と2、3、4コーラス目で は、G音のポジションが違うので注意しよう。また、回のディミニ ッシュのコード時も、F音(Bdimコードの5度の音)の場合とルート 音(BdimコードのB音)とを弾き分けているので気を付けること。 ドラムだが、シンコペーションの多い曲だが、回ではあまりシンコ ペーションを意識しない(他の楽器のリズムに合わせない)形を 取っている。

90



© 1983 HORI PRODUCTIONS AMERICA, INC. Assigned for Japan to TAIYO MUSIC, INC. Authorized for sale only in Japan.









































ギターだが、IntroのリフはAメロにも共通するリフ。16分のノ リをもつファンキーなリズムなので、休符(特に16分休符)をし っかりと意識してブレイするように。国のバッキング・リフの1 小節目の3、4拍は、ハイ・コードのスライドをスムースに行うよ うに。あまりねばっこくならないようにするのがポイント。Cの バッキングはアルペジオ風に音を伸ばす感じで弾く。EのGt-1は ソロ。4小節目は開放弦を含んだプリング・オフ・フレーズ。速 いパッセージなので右手のピッキングとのコンビネーションも大 事だ。6小節目の3弦14fはチョーク・アップからのダウンなので、 チョーキングするときの音が出ないように注意しよう。回のGt-1、 1小節目のフレージングの後、2小節目のアタマの2弦15fへ素速 いポジション・チェンジを行う。6小節目の1拍目、2弦15fでの チョーキングは人差指で行うのだが、力が入りにくいので音程に 気を付けてチョーキングするように。ベースだが、16ビートでのラ インなので、ノリ、フレージングともにかなり複雑である。同じパ ターンの所でも、前回は音を伸ばしていたのに、今回は休符になっ ていたりする部分もあるが、これはベストなノリをキープできて いるからこそできる間のようなもの。ビギナーは細かい符割りを よく確認してからノリを出すように心掛けてプレイしよう。ドラ ムだが、16ビートのノリを持つ曲だが、基本的なリズム・パターン は8ビートである。まず、リズム・キープをしっかりとすること。





Assigned for Japan to TAIYO MUSIC, INC. Authorized for sale only in Japan.





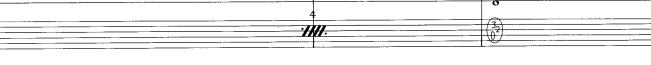
















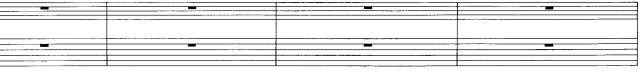
III











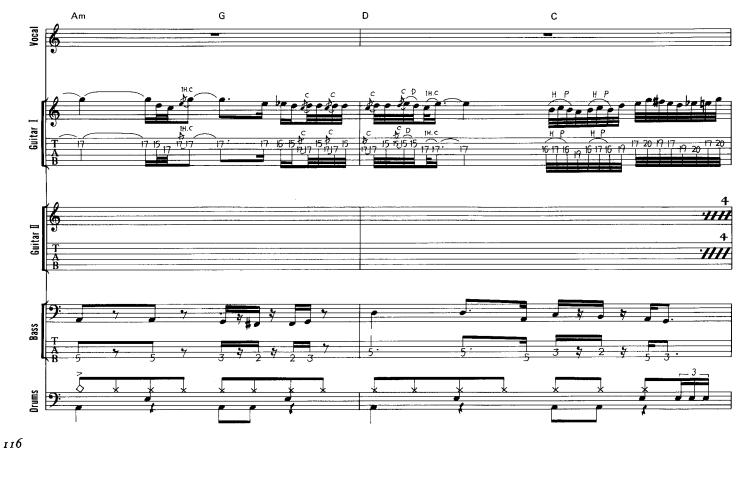


Guitar I



j





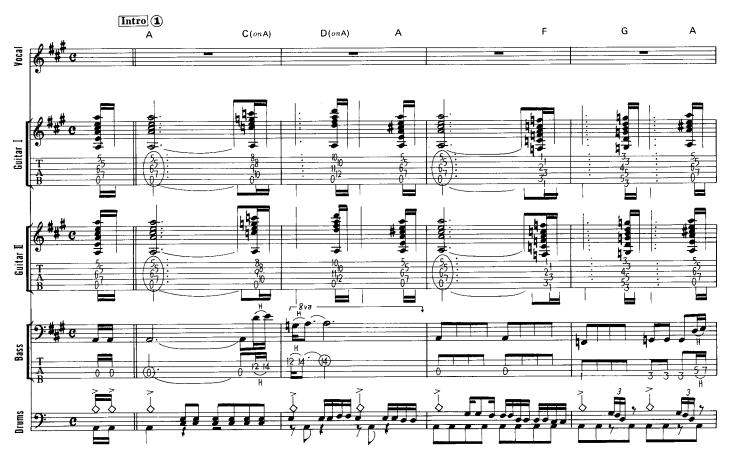


**AND ON THE 8TH DAY** 

アンド・オン・ザ・8th・デイ

Words & Music by Gene Simmons and Vinnie Vincent

ギターだが、Intro1や回でのコード弾きでの分数コードに注意し よう。5弦開放のA音を生かし、1~4弦でCやDのコードを押さえ、 同時に鳴らすというものだ。Intro2はAのコードでのアルペジオ風 なリフ・パターン。sus4の音使いが印象的である。回のGt-1はソ ロ。2小節目のチョーク・アップを使ったフレーズだが、ここはポ ルタメント的に音を下げていく感じで。譜面の音程はだいたいの 目安として考えてもらいたい。3小節目のチョーキングは、前後の フィンガリングの流れからすると人差指で行う事になる。しっか りと音程を上げるように注意しよう。4小節目のチョーキング・ ダウンプリング・オフの後のフレーズだが、2弦13f、2弦12fと両 方とも人差指で押さえていくと、続くフレーズでのフィンガリン グがスムースになる。5小節目、7小節目あたりのビブラートは、ア ーム・ビブラートのニュアンスだろう。EのGt-1は、異弦同音に よるハーモナイズド・チョーキングだ。両者の音程が一致するよ うに、チョーキングする側の音程には気を付けるように。ベースは ルート音だけではなく、コードにそったライン・フレーズが多く 出てくる。フィンガリングもよく確認しておく事。ドラムだが、 Codaでの3連パターンでのリズムには要注意だ。 特に2拍3連 がキッチリとハマらないとノリそのものがなくなってしまう。



© 1983 HORI PRODUCTIONS AMERICA, INC. and RIHO MUSIC, INC. Assigned for Japan to TAIYO MUSIC, INC. Authorized for sale only in Japan.



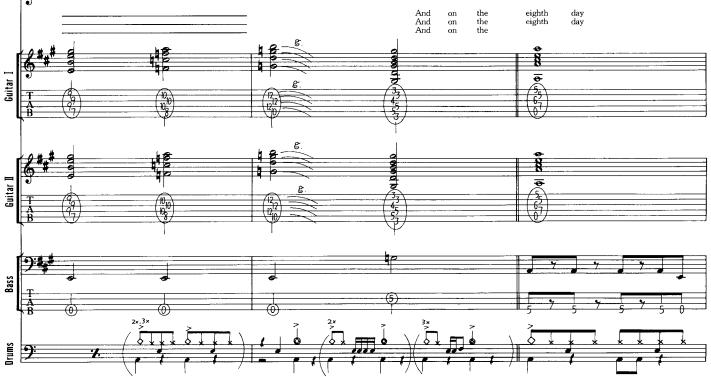
























.

ч

5 5 5 5 5 5

Bass

ji 🦻

-1

....

...

-

Þ۶

3

-

3

3





